の敬良を行び以て家

「パーノシャー」に依り其の需給を目標さし主さして

を本位さして行動するもの事質は之をは逃すこさ の利職よりは等为自己の利 の利職よりは等为自己の利

白は卵貨紅は姿色のる婦女なる俗諺がある。是れ湯ったものであつて、黒は阿片たものであつて、黒は阿片たものであって、黒は阿片たものであって、黒は阿片

は、こが保護増殖に努め合理的経営に依つて材力の保 の保護に依つて材力の保

水種を改良種によりて置換りに依り在水種の改良をりいる。小」に依り在水種の改良をりいる。小」に依り在水種の改良をりいる。

少くさる二百七十萬爾の整を行ひ侵良型の増殖に努め

共に品種の改良を行ふを以の開発は家畜関数の増加さ

(1)我詞の畜産は其の査領 なるに拘らず査質劣等なみ ものろく資源さしての質値。

(ニューョーク二日登録) もシガン州に口切られた地方 銀行の動搖は漸次各州に波及 し形勢順に悪化し、モラトリ アム帝施行はもシガン、メリ イアナ、アルガンツン以下デ イアナ、アルガンツン以下デ フウエヤ、クンダウキーでワ

案可决

鐵道關係法

(2)家畜の改良増殖 ロアラブ」等に使り在来種 ロアラブ」等に使り在来種

い今度の金融が低の發展は非い今度の金融が低の發展は非

行では左の如

十原町歩年産順二千萬石に(ハ)、麥は栽培面積二百三

少緑棉华産館一億五千萬斤(ロ)棉は栽培面積三千萬町

の飼育を聴動して産業が登界機・截架等の栽培が作業

笠林。忽布。甜菜。

米國地方銀行を襲ふ

心慌

に悪化

改築並農、経費の輻利を

(イ)我農業經營の基幹を含 す大豆。高檗。栗、宋嗣秦 に付ては之が栽培に指距奬

2)農産の改良増殖

第五.農業の開

生活を向上せしめんミす 社人こす。 関有林の經營は 世人こす。 関有林の經營は 関營を原則さし必要に應し 関營を原則さし必要に應し の下に夫々合理的經營を貸 の下に夫々合理的經營を貸 が下に夫々合理的經營を貸

在でりて、農業經營を開する行び職業の養選を関す で其の恒久的利用を圖らむ ですの価養に努め濫獲を戒め

むるき共に副業經營並機械で表帯なり、基礎を表別である。 機器を設置し農業移民をし 併の蜂を防止す 七、土地での調査を行う (1)速かに土地の調査に着手

百萬町歩の開發を行 ツの開發を行はしむ

表を取り入れた改と案を提出かあれば改めて公覧さ比例代

き再び改正する考へである 会話き、比例代表に関し法制

さなり関い、時に午後五時 南補足町答辯あり、更に大島 の補足町答辯あり、更に大島 豫算案は

同副支部 長 部

孫 存 傳 李 香 亭 氏 虽 氏 氏

支部庶務係 常日 業部

算を編成し乍ら繋散を登るは 財し貴族院では条正可及び同 財の人間は高橋蔵相は尨大な豫 たが、湯宝崎の末席就任以来特に甚しく、彼は就任以来特に甚しく、彼は就任以来無河省を自定私有の天下たらしめ、蓄切に便なる要地位るの外、其の他の重要地位るの外、其の他の重要地位も亦一族郎蔵を配し、食慾卑容好色の外服中何物もな卑容好色の外服中何物もなりは周知の事實である。熱 たが、湯玉崎の市席就任以氏は皆政の悩ます別さなつ

が、いくら哉山が融つてゐるか こらとて、いつまでもからしてゐら とらとて、いつまでもからしてゐら と 「一大は銀路、なすこともないのでたいゴロんして魅神を歌んだ」 の、風場をしたりして連ざすのででたいゴロんして連ざすのででなってこ人が駅のやもだり でたいゴロんして連ざすのでで れないといふ無がし出した。 歌が、見解に取って容易ない 歌が盆山のがに見えて来た。 歌る日、数佐子が揺戦する

東書ではない事が分つたのよ」 か書のお人が、わたしたちを世話

まつまり、わたし窓を積にして、 であことが、つい比略になつて分 ったの。だから一部も早く此の家 のたの。だから一部も早く此の家

三大

つたので、

最近に於ては、湯洲蛟建図の下に反論館を見なかつたが大なる動搖が見なかつたので大なる動搖が見なかつたが 而して怨嗟の墓腹する所、 治科智反及び蒙古民族の強 治科智反及び蒙古民族の強 を要の默鵬にあったとは 成不安の默鵬にあったとは く、且湯亦保瓊安氏の主義には、省氏は一般に時島に暗面して事變勢養富初に於て マネス、ちょつと戦田まで」

み出し

での二間ついきの二階があつで、 での二間ついきの二階があつで、 での二間ついきの二階があつで、 での二間ついきの二階があつで、

ことはうなづける。

もお家へは豚らないお頼り?」

流山流

南

鍼灸師 動七事

吉

田

炎の妙葉あり 下鶴セキェノ肺

言 常 光

取次電話二六四八番和本領事館前

ぶらん 遊んである際に行かない

藥別。 東朝。大朝東新聞社發 東朝。大朝東新聞社發 師範 西田方山 東京 大湖崇新聞 大湖崇新聞

千部子は夢をひそめて『質はね、 とありますよ。それまで此間にち しといつたが 洋帳簿 各種與本事門 柳尾新聞館

▲職業和介地である。
新京勢動保護者の無料紹介ス
新京・無料紹介ス
新京・無料紹介ス
を表する。

座を佔む、實に満洲の文化的開發さ指導機として最古の歴史を有し、多年扶植培開として最古の歴史を有し、多年扶植培開として最古の歴史を有し、多年扶植培

ライオンカファ

三爷町二丁目

高語三三七九番

美人揃ひのウエータ連のサ

ーピス振りを卸売でさい

ホガラカなホー

種 撫順炭 新京日本橋詰 一版資泰 話二十六〇番 利 肚支 大學研究 西東京印 號 D

花も質もある スマ居テシ待御 7 朋なかホールさ タン カフエー スキ焼の鍋物類 刷新なるサービス間が カイ 电話二四六八卷 力

滿洲國經濟 建設綱 査を行り調有材を規整し之を明して林塢権の整理を行

を加味して其の改善

前田委

赤三次将盃式を舉行した。大 第三次将盃式を舉行した。大 第一直が組織統制の完備を関した 文を形の競音式を舉行した。大 では編州人順員の はの組織統制の完備を関した 本文部の競音式を舉けて居る が、一日建城祭の祝日に借り

(百六十二) 山田 (10 年) (10 年) (10 年) (10 日) (10

ねるわたしに、腰しだてをなざる

こひどいわるこんなに戦しくして

質は三浦屋 新京税町三丁目三(開花館) 新京税町三丁目三(開花館) 三浦屋質店

ちどんなことでも致しますからことな

中谷時計店

看指三人五四

備洲正義團の

(書) 遊藤

秋鐘

日日日案內 神中人名比 特名在比 一同令八十續 作名在比 一同令八十續 作名在比 一同令十十續 一同令十十續 一同令十十續

品

質

第

凱."

歌

541348

支船發會式

日本橋頭屋前

なてある は不種気ださの煮ある質め、 は不種気ださの煮ある質め、 が発言に交出りさころ、研究に

て新業の登選を促すの外標を関し以て生産消流の敬事を関し以て生産消流の敬事を関すならしめ 性の試験機制。実務の指導整備を行よ官

一百余名9件しな部より 1

(4)治水。液瓶事業等に付基 (氏) 贊成意見を印陳し、園園の伊豆富人任贊成の旨を連 べ、験會は意見を観相を惱ま べ、験會は意見を観相を惱ま した諸案が障礙決議時で辛う

箱根

TEL 341910\$)

久山知之氏登燈

本学天第十支配の経會式 全華 数列階して整大に大麻州正義 数列階して整大に大麻州正義

り、それく任命狀を交附せに對し主題代題小林德三氏よの貴膜を削するため左の役員

できったという。 できっと父をはの方としてきっと父をはの方とし

ないで

さよつと食ん子の多が見えか から観座のできたできを得かれり来、舞りがへる出ない。 これの歌語につとめてみるとて足の歌語につとめてみるとのできた。 一度心路兄妹を見舞はないよ 時でも、ちょつと顧出しを がはよくがつて、よ。 ……」

ほねつぎ 専門 今 辨 慶 療 院

下宿案內所

明るく温かく

合服の街注文は森板管製製、入荷豊富本教管製製、入荷豊富

新

京

木

亍

加藤葬儀計 職な三二O八番

道具一切 神佛具

も旬日を出ずして容易に全治する事を得べチス神經痛の如き容易に治し難きもの鍼灸治療は醫術の補足と見る可くリユウ 能障害を胎すことなし の腫物は切開せずして治療し瘢痕或は機べし其の他瘍、チョウ、セツの如き一切 断京筝町三丁目七

暖房鐵工 各種機械設置並に設計圖面 諸機械マシンツール電気時計を締結、請員修繕請員 長春鐵工所

新京一の機械工場開業」

富士町二丁月角 電恩二六〇 퓆

生

新京代理店 西村洋行保險部

新有給社員募集

最高率配當實行 西 村 東一條通 第二〇

辭表呈出 部

日南京政府宛辭表を呈出せること判明した ヴー 一日登國通」聯盟支那代表部顧以下三名は一

駐日蔣支那公使

引き揚げ命令說を極力否定

不國政府は引揚げ等は考慮せの筈だと之を否定した、過日外交部の聲明の通り、報道に關し、支那公使館では、かゝる命令は無い、過日外交部の聲明の通り、(東京二日發國通) 南京政府が蔣作賓公使に對し引揚げ準備命令を發したとの の爲米湖は偏重な態度を保持しても明白だ、原東並に世界

他ので自分は第の指はれた の時期を拉致して兵匪に手 の時期を拉致して兵匪に手 でも関いたが、其奴の所在 たき聞いたが、其奴の所在 たき聞いたが、其奴の所在

元大連市

長石本質太郎氏

種々最近の餅べに付いて晒日來錦。錦州蕙兵分降を訪

る所あつた。氏は多分二日熱

述べ

ある」

伐の火蓋を切るさ聞き

るこころあり派さ共に

入戰線

秩序維持に

新京中學校の

顔惠慶露都

日四月三年八和昭

製題間滞在再びジュチーヴに向よ豫定で ♪7に向ふここでなつた。顔恵慶はモスクソに於て路崎政府に時費を捧量した後シュチーダ二日鎌崎通】 駐路大使に任命された顔恵慶は本二日午後六時當地麓モ

器禁輸説に 米國の輿論耳を傾けず

京

の民意に反して紛事に捨き込の事態を悪化せしめ米回は以

二十二日「ディリ

日本軍の熱河攻略準備揃く世

米。はスチムソン氏の不承認

せればならぬ 我軍員初の二大

速短縮

は

戦史上例を見な

10

成功

一時州五分選に、

我军5入城

さする周野なる用意の下に行った際の西北方に緊迫して熱河

ディリーニューの社説 佛、英で企園しても日本は米。 ちっポイコットの效果は少いであ 占領され。一方後点も平前十 ・ 一方後点も平前十一時我が段 ・ 一方後点を下着上

國書捧呈後叉壽府へ

地盤維持に腐心の學良 張兩人を躍らず to 類より脱、せんこする飲を。 既況な総観するに、 郷魯方面 戦力の世界は赤峰及凌

可能なりやを歐洲の武器輸出 氏は英米主動の下に武器禁給に再燃し、英國外のサイモン

甲を誘鎖する異れあるここ

れあるここを

言つてゐるが之が質行困難

迫い回するものでな

るから「ポイコット」の知き駆日本は前選を貼して事に高す

主義を支持すれば足らので、

網は英間の武器特権又は對

所ろ手段は極東

3に酸

萬龍麟を絵西攻防總指揮に、(天津二日建制體)提挙良は

器輸出禁止運動は米湖及歐洲

明際的「ポーコット」若くは武

援助を口質に贈り軍隊を北上

かは見ものである せんさしてゐるのに對抗せん さしてゐるが萬、银兩人が して何時まで學良を命を聞く

を早けて遊一無二

凌源一番乗りき快速を利用し部部険米山先遣離は、我こそ 登々一部 帶數面 を確載せる落合〇〇〇瞬長指 整領を傾け、折柄河原挺身隊 野西北方に向け凌源城を目指 河原部隊も驀進 が現出された。 無いさるその か、此處に腐からする河原挺 3 形 い、此處に腐からする河原挺 3 形 い、此處に腐からする 服都 が現出された。 無いさるその が現出された。 無いさるその が現出された。 無いさるその が現出された。 無いさるその が現出された。 無いさるその

天下一品です

賣出數量

小樽樽

正味四貫五百匁人正味拾七貫入

本牧場漬け込みの澤庵も愈々本統の味が付きました質に

大景品付大賣出

(凌源二日 麗國 小至

鑑み、緊急にして實行可能な はない ならめ。日補の共発して終かした を決すると謂はねはならめ。 を決すると謂はねはなられた を決すると謂はねはなられた を決すると謂はねはなられた を決すると謂はねはなられた を決すると謂はねはなられた を決すると謂はねはなられた を決すると謂はねはなられた を決すると謂はねはなられた を決すると謂はねはなられた を決すると で表現で を決すると で表現で を表現で を表して を表現で を表しで を表現で 決して充分ではない。従って るか此の消傷手段のみにでは が衛きに努力しつつか 情い乍ら此事初期計畫の性 なる技術を要する。別民の一なる技術を要する。別民の一なる技術を要する。別民の一 乍ら此等初明計畫の佐

等等等等

多本 壹平三付 上等羽根蒲團 一

景品左記ノ

通

(小樽一丁二付

景品券臺枚)

小樽

大樽

壹

三拾本 壹本二付 五奸牛乳券 壹枚

(價 高豐圓九十五錢)

價格金參圓廿五錢)

壹本二付 中等羽根辦團 壹枚 (價格金三拾圓也)

豊枚

(價格金四拾圓也)

壹枚

(價格金六拾週也)

期間自三月一日至四月三十日

大百姓

国及融油機関の接收さを了し は確立を致りした。即ち建設 は確立を致りした。即ち建設 であるが であるが

今大同元年度独集を見るに 会大師記一億一千三台三十萬 元、其經常部九千七百四十萬 五元報であり、歳出は經常部 一億〇四百五十萬元弱、臨時 一億〇四百五十萬元弱、臨時 一億〇四百五十萬元弱、臨時

①九、

別辺の財政は内外に於て

厳にする等。

其面目を一新し

勝來ではない。 唯い で 連い で はない。 唯い で で

るは遠き 枕合して

の如き既に其強想を

ある。即ち本年度が

氷めなくてはならぬ訳

財政の確立

税務監督局を設けて其監督を部分ら無財政を直轄し、新に

削除

豫算が組むこさには功し、昭 教話は闘の充實を計り、月間

年十月以降の第三期に於て

割下の緊急に應するを主さして右鞭算編成の根本方針

併し年6 な文を匠

大網は略々推測し得るさ思想さして進みつつあるが、

を低しつつがるが 以上に依つて満洲

李哲师

CD

罐

待つかのやうな半群

建國一週年に際し

所懐を述ぶ

愛慮するに常らない。

は決して

所であらう。

魚類算さしては已む

方べきこさは事質かっ

人の増加

關東軍參謀長

皇軍の熱河入

りを

陸軍記念日に 各種軍人會

日の催しの一つさして率づき(東京二日登岡研)陸軍記念 在住の今回の事變並な の日比符公會堂で東京 では九日午8

に對し張き後波心を喚起するの念を様ぐるご共に一般民衆の念を様ぐるご共に一般民衆諸戰役の復兵及び漢族を招待

事さなつだ

行方不明中

の弟を

熱河

他方錦州並び上級中より出動に設備を致い、一度起つて熱が、一度起って熱が、一度起いが、一度起いが、一度というないが、一度というないが、一度というないが、一度というないが、一度というないが、一度というないが、一度というないが、一度というないが、一度というないが、一度というないが、一度に対している。 れき相前後して落合○○除る一番乗りの名を顧り得た。これが乗りの名を顧り得た。これが乗りの名を顧り得た。これが乗りの名を顧り得た。これを担け、遂に

案外早く

解决しやう

熱河から北平

歓喜の市民

避難の支那人語る

変調不便、且つ血線要量たる ・ 地帯にあつて敵に取時し、か ・ も急速なる戦線の短端に成 ・ で遺は皇軍終士の敏速県敢 を見ない劃制的成功さいよ可 を見ない割場的成功さいよ可 を見ない割場的成功さいよ可 を見ない割場の短端に成

あるものであ

的行動を取つてゐる 平津地方の

李烈鈞急遽北上す

「南京二日穀國州」同防安員 前に富る路めご報ぜられてる 會別委員長率烈鈞は今晩か明 るが其の實列顧の態度が恃み 早朝津浦線で北上するここご にならぬ今日半津に事を起す なつた、右は同防委員母執行 は危険此の上無しご悟り。蔣 なつた、右は同防委員母執行 は危険此の上無しご悟り。蔣 京 の命を含み熱河敗退役の平津 京 かったで代り、抗日軍の指揮統 はれてある

服部々隊入城と前後

番薬の争ひ

本年四月一日より開校する新京した有賀崎曜県務課長は、 京した有賀崎曜県務課長は、 市が係長らさ協議のうへ二日こ

本年度中に基礎工事全部を終ることになった 局敷地は現在の間東電司令部官会階西方。 長端側のたと ころで總所積近萬平方メートル(凡を) 第3子坪)等宿 舎はそ小附近で新泉駅に近 舎はそ小附近で新泉駅に近

あす關係者打合せ

一世日空 け、近く軍 はりを部である東三條 謝公 を完成さしもに現在 司令部の新 しし、また答演音に現在 司令部の新 とし、また答演音に現在 司令部の新

現在の司令部官舎南西方に

敷地全く決定

常介商業単校内を

◆市脇大佐(教育總監·)二8 ◆市脇大佐(教育總監·)二8 ・一時大佐(司)河上 ◆行大佐(司)河上 ◆行力中佐(司)河上 ◆行山中佐(司)河上 ◆旧中中佐(司)河上

「産相等」日發網第)〇〇個 出迎へ非常な歓迎振りを見せ

事往來~

組がこれまた近く新築お様す

町外れまで出迎ふ

現學良は現在に於て6十五萬 の兵を擁してはあるか、真に 事良が慎額の出來る兵は其內 の僅かの一部分で除に今回の 熱河間期を御に軍費を築め私 部下將領の反感甚しく、蔣介 石は駸々學良に其事を忠告し た位で、又京津地方民の反學 一 以上円 一 の地に退い 一 以上円 一 の地に退い

てめる學良は服介石の手に娘のからやうに見せかけ、保定 てのる此間の観画 良氣関・顔る濃厚!

南湖旅を掲げて皇軍を迎へた 即の要地茂源も完全に我が手

籤し即時兩新聞にて發表致します景品は同時に御渡し致しますは五月五日にして警察官及祈京日報新京日々新聞記者立合にて 千鳥町四ノ四

電話二〇八

IN ANALYSIS

PIE I

14 300/10年了

襲來千五百戸は流失

桿上に置き切符を求める中

新京経衛門で同九時後扇行 (銘仙)との他数語呼信日余 (第仙)との他数語呼信日余

●日本後の五十八自動車運動

中には南北に亘り約十キャの 東朔三里)を復走しつつかり

▲梅ケ江町四丁目宮崎県房店回々見舞はれた 行小切手三枚額面三日五十

つある棹様なるももの後の情で第一駐屯してるたが、皇軍 下第一駐屯してるたが、皇軍

學良自動車

唐津にて一寸待て

を答み逃げており二名のみ を答み逃げており二名のみ

一應会中な原置をして

態々米國に註文したもの

町三丁自駟田重夫

空中心と

東京地方に近來稀な强震あり被害なし、 東京一日發國通至急報」三日午前二時三十四分十四秒 震動は弱震性質緩、震央は福島縣塩屋沖で關東地方 へ飛出した、中央氣象台の發表によるご最大震副四 寄せ釜石では流失家屋千五百戸、火災起り三百戸地方も强震を感じ、釜石地方は午前三時津浪起り なほ延焼中 熟睡中の市民一同

京仙台二回線、東京郡山一回線は地震のため故障を生じ不にして詳細不明だが全滅に瀕してゐる模様、電話線の中東岩手縣下宮古町では二百五十戶流失。山田方面は通信不能 ごなったが電信線は被害なし(以上

號外再錄)

關東震災以上に强い

しは

暫く散歩の機船室に降り 盛場を中心

歓呼の | 熱河の天他を搖がす

I

界の波紋

コリ泥が横行 けふの屆出が五件 **吹雪の街道を**

御日常 中島比多吉

執政の

諮執

地及全観に左の如き内容をラジオで鳥踏鷸は執政日常の御生活模様に就

館山稲食の競き方

市砂津町南山越町櫛田福田本土

滿洲國官吏

茂木部除の追り効を奏し敵を 育に逃げ出し見る間に戦線は 頑蟻な抵抗も何慮へや6、一なる英姿を仰ぎ見て今までの

柄にも拘らず。巨型の如き御手許師で の類なのが、 八人人民

契らずの

町一丁目一、戸谷マ

はりの債務に依わば、 で 一同は 近々平泉 源の大機 りの観測困難であるが経験の部は猛烈なる吹雪で飛行機よかして心を三日朝來熱河省南 皇軍の飛行機に

赤峰の敵一齊に退却 「佛河二日養説師」皇軍の花 親国のより赤峰に向つて出動 技术部除さ相呼磨して之を撃 されが除さ相呼磨して之を撃 約二千の一集連は〇〇方前に

力さするもので、獨は低に北 將なき馮匪 烏合の衆

而き光景を呈してゐる「大抵抗を試みるは當然で、かくて「承德を中心さする各主要道路は敗走兵の往來さ陣地の構築で鼎の湧くが一条。承德の中間大溝暗近は特に人馬の住來繁く敗走の兵は剣々承は附近に集結し、承徳郊れに在っ清朝時代の「後源二日發國領」凌源を追はれた學良正規軍は承徳に向ひ縁追却をなしつつあるが我が○○機の偵察によれば「後源二日發國領」凌源を追はれた學良正規軍は承徳に向ひ縁追却をなしつつあるが我が○○機の偵察によれば「後源二日發國領」凌源を追はれた學良正規軍は承徳に向ひ縁追却をなしつつあるが我が○○機の偵察によれば「大抵抗を試みるは當然で、かくて「承徳」附近」に「於て「一大・微戦」展開」されるものと見らる「大抵抗を試みるは當然で、かくて「承徳」附近」に「於て一大・微戦」展開。されるものと見らる「大抵抗を試みるは當然で、かくて「承徳」が近に「於て」」 敵匪の總計八萬 結すべく、その數は八萬に達するものと見られ 築を爲して居り、之等支那軍敗走兵は兩三口を 兵を集結陣地を構築 激戦展開せん 情勢より推して見るに彼等は、く敗走兵の承德集品を行つて最後の の激励市報により、同地の湯玉麟と卓を開んで に達し、同地に在つた友軍と合隊して各要所にを打つて承徳方面に向け退却しつつあるが、そ 車總可令張作相及び、 一大勢力を有する馮占海

←市民は。ほつさ一安心の歴 人城したほめ大掠奪を死がれ 一時間 ― 年前十一時

(像州二日 を 部部隊の主角は昨夜より今朝 に亘り北章堂子附近に於て第 十九郎ミ微戦を変へ、紋にを 大の損害を與へこれを輸破し たが。此の戦に於ける我軍い たが。此の戦に於ける我軍い

出所から申台しないであでれたは他の十四名のみは調されたは他の十四名のみは調されたは他の十四名は所替派

川原部隊急迫

佐郷屋の死刑

ある、自分は無屆女給

當

である

四道嶺を占領

「赤峰 1号舞観通」二月早晩 三時より孔茂木寒酸は赤峰郊 が三里の地點より一質に攻撃 を納給するや同地東方一里の

より全線に亘つて動搖を始めたこ見るや、先づ中央部よりで最も現る機構れに対して市街に劉人、手信り次幕に商民から掠奪しつつ市外より承認街道を挑乗闘いの市外より承認街道を挑乗闘いる。

附近にて

服部部隊十九 師を撃破

自分等さして健に女給に耐 と成がなければよいさ思ふ を何の感罰は司法係でやつ たとだがこれには自分が一

北意營子

右に就保安係門田警部補は語

新京署當局の

あつてほしい なくさも私等取締の役にあ

落度はない

六十の一願は寄空詩(老虎山)、双扇子より退却の敵の騎兵在と双扇子より退却の敵の騎兵在と

赤峰進入の詳報

建平には

十キロの陣地

ード會社 (備船で程度の駐文にて運輸の途中なること判明 同署では時節項之を重視し 額と打合中。

一考へ一られない

罪を受けないこされです たこさか私等さしては一十

が屆出たがそれでも何等

る陣地の構

里要作戦の協議をはしつつあり、此の

占據、城頭高く大日章旗を翻へした、將士の擧げる歓呼の慇熱河の天地を搖がす(凌源二日發國通) 服部部隊米山の先遣部隊は本二日午前十一時州五分凌源を 服部部隊米山の先遣部隊は本二日午前十一時州五分凌源を 目指一 あものの如くである 物道は豫定派り進捗しつもあ 阜新の脳洲國軍

結せを講洲國軍は顧嗣の敵約 二十三月下交戦中 交戰中 敵二千ピ

ウス法に動し色を變へ 一憤慨 を接起した 既に貴紙を見て知つてゐる。 は他の網にかくつた女給は は他の網にかくつた女給は

名畵の合唱、春は御婦人から等、醜い美を求める人々に三茂贈る小津の真の東京の合唱、春は御婦人から等、醜い美を求める人々に三茂贈る小津の真の

並に同十八名C 歴土に紛し一 といったと取らなかつたかさ にはれてゐるがおに飲き科科 機動されたこさに動しては 私等が雪崎の指令に従は

れたさか、又は窓裏が出来 権者の承認教等の到着が選 し述べるこさはない 生物魚 靑

情の一側面観です ユーモブの にも青春の香り高き友情のシンフオユー 小津安二郎 監督 印 高 梧 原作

仁俠や くざ 廣瀬五郎監督 道

春の夢 下加茂三十大作の一つ \$ 近川中 網代 銀子 づこ **英**齊達里子 ひ場かな感

営業者側の言ひ分 議を提出した 議を提出した 知く十八名単けられてるる と他の一軒の女給四名が聞 △和泉町二丁 滿洲及日本社

どう見ても不公平だよ

事實は

?

社員佐藤康夫雄氏次男 一月七日午前四時仕分出 ○吉野町二丁目一二群貨町 庭源七、長女川下二十日 2.本泉町二丁!一三、號非勝雅

古 凶禍福

を見や角云こさは出来ない

「没源三日最前調至愈料」和没原先遺跡は後期部隊・没源を ですや休みも致へず平泉街道 を西へ向け混削情態さなつて を西へ向け混削情態さなつて

け強れた散脈に撮釈、迫撃砲泉の中間四道横の要地を占領の中間四道横の要地を占領

(東京二日發明明)

生產黨抗議

、値の恢复に

戸板の上に仰臥しなから、 時々周園の者に、戦况をたづ なる以外かたく口を結んで。 ででは、 の質値は、 思ひのほか重くお

わたつて、

だ俺は長瞬の土になる。故せ

米澤藩の大軍が到着し

思ひ掛けぬ援助

大阪南船出帆

大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 大阪商船へ二二大職

三笠 M) 二丁目

なかつた

型强烈



はるびん丸 三月十二日 (無偶数日午前十時出版) はいかる丸 三月 六日 南米利加丸 三月 六日 市米利加丸 三月 六日 市米利加丸 三月 六日 三月十二日 三月廿八日

引、合船一割引、

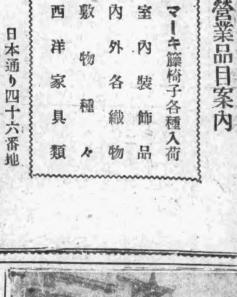
(通濟運輸公司) (通濟運輸公司) (通濟運輸公司)

御旅行者及一般の御便宜を計る為左記取御旅行者及一般の御便宜を計る為左記取御旅行者及一般の御便宜を計る為左記取 お一切迅速確實に取扱い致しますから御右一切迅速確實に取扱い致しますから御 新京中央通十一番地 一番地 D



電配二九八日

三笠町四丁目十四番





軒 希肖 養 通條一果

五人一漫自櫻選等 輸入組合加盟店 製菓 さ モ

御薬の御用は 電話三八四二番

記師所 ● 酒よ

香

長 崎

ステ

ラ 草

3

命牌拜受の人類の店

海陸物産
和洋河類即間屋
の一幅
田高い
海陸物産
村橋外青果委托官買
本店、安東縣。支店、奉天、新義州
が高野の間屋
の一幅
田高い
一方
「大田」では、「

+ 5 の助魔も旅な供権 安足袋の無恰好や 8 1 5 0 :3

110 康忠 紅淚双 州島 久 緒 本音次郎

查作

紅玉リンゴの

(治目金士二級)

して、いよく勇みたつである時の節の節のた育民隊より、い

着荷案內

兵まで披野の権にある景岡野の軍に加入した一事である。 一一すでに、娘師協つき、一一すでに、娘師協つき、

日四月三百九月二百

季節に應じ

一番 変 が 町 番 が 町

たんぜん綿

が目

●一白の人 細心の注意を排ること内さ変が古

戸板の上に仰臥しなから、勢が天日さる仰ぐ總指揮官河

扱け得る様せよ 弘延築何れる凶

敷

横山洋行支店

電話三八三一番

を電 略 號 ホ ヨ 振春口座大連二八四〇 番 元 三九〇番

型線型呈

登商行ラヂオ部

レビアン受信機 九球式

才

是非御電話に下

二六〇二番

吉野町二丁目一番地

東亚號藥房

用別間三ケ月)

念中、暇きつ

曾我廼家 電話二五八八香

戯光紙と焼付

測量器械ミ製圖 社式 本店 #天千代田明三六

用品

内 京中央通三六 田料 行 出 張

大阪市

備え

町二

和祥青寫眞感光紙 發

賣

元

大同

工業寫眞株

式會並

支 店 大連市桑町四

電話三一一六番

統制をは之を政府の事實さす 統制をは之を政府の事實さす

の変部より、在支土の場所は

み成は對日ポイコラトを貫す ・ 一年間延明を認達して來た。 ・ 一年間延明を認達して來た。

は終るだら、規約の條項に は終るだら、規約の條項に は終るだら、規約の條項に は終るだら、規約の條項に は終るだら、規約の條項に を熱心に主張する者あるが をれば全級誤りである。 とれば全級誤りである。 とれば全級誤りである。 とれば全級誤りである。 とれば全級誤りである。 とれば全級誤りである。 とれば全級誤りである。 とれば全級誤りである。

聯盟脱退に對する

の評

1

指摘するる

英米輿論の動向

火國―

平和論者は断然日本に對する 強硬所状態さなるなら、忽ち は日本のお際で、岩し端洲が は日本のお際で、岩し端洲が は日本のお際で、岩し端洲が は日本のお際で、岩し端洲が

利に轉換したであるをア

日本に副ひ得たであろう

團匪賠償金支佛ひ

支那一年延期

を減告すい面して政府は脱 と減合すい面して政府は脱 と減ら、網際版的の義務を はない、網際版的の義務を はない。

の事で、昔なら寅歳布告に 聯盟の今回の採擇は未合有

を喜ぶものである。各図

中本を監視せねばな6か

個府に諮詢する

全四日米

其の権限は動令を以て

脫退通告文要旨

(東京三日登園通) 監督管理 (東京三日登園通) 監督管理 (東京三日登園通) 監督管理 め、鼠替管理委員が組織す主務大臣の諮問に應ずるた本法権行上の重要事項は、

ハ日の閣議で决定されん

為替管理案

を考へねばならぬ所謂禁制品 はの破壊的大打撃を粉来する事 ロスカへなす可きである、新 の中にけ綿織物毛布、靴 自動車、ゴム等を含まれ りつて英濃の極東貿易は

ら此別目に陥つた結果、 ・ 俄然 なるので、馬車場的抗日戦の

局狼狽

北平軍事當

政友會は承認 但し附帶決議付で

野田中央駅が二十五節腸崎微 ではしめる外、引線が二・四、五 三四の四個節を平漢、津浦県 一三四の四個節を平漢、津浦県 の質め輸送する様、命令を尋

特別活列花数 定明存数 定明存数 三期存数 二

學良もまた

増援隊を派す

本明純益金 三 末决算項目 三 三

でむ である は が 無きを いなる は の 重大性 に 既 で は また は で は また は に は する は 関係の は は かな な と で は か な と で は か な と で は か な と で は か る は が あ な と で で は か る は が あ な と で で む る は が あ な と で で む る は が あ な と で で む る は が か ま た は に に に は か る は が あ ま か ま か る は が あ ま か る は が あ ま か る は が か る は な は か る は な な は な な は な な は な な は な な は な な は な な は な な は な な は な は な な は な な は な な な は な な は な な は な な は な な は

若し之を實行するさせば日支 のであらう 央軍を増援 意を決し

師及び騎兵一ケ旅を北上せしむるに决し、已に二師は昨の崩壞意外に早きを知り、これが增援の爲め中央軍四ケ〔兩京三日後35〕蔣介石は熱河方面の形勢益々不利となりそ 熱河援助に派遣す

【天津三日養國五 」 過民政府 關內敗走兵 一日までに南京を出發せ 監視のため では常初より對日熱河戦に三 しめた ものあるも、一敗地に登れ ・ で類してるただけに今次の ・ で類してるただけに今次の ・ で類してるただけに今次の ・ で類してるただけに今次の ・ で類してるただけに今次の ・ でがしてるただけに今次の

に通達す を
のがあるさ

ものがあるさ 州を見越し、大兵を再び敗縣単良か日本側の闘門

をく忘れられてしまうのである。 続野麻は阿片の暗針の酒のピラは、津 を油みにまで及んでものを見 を油々にまで及んでものを見 で共だ不思議に思ふた事があ る。 続野麻は阿片の嗜針の廻 た向けようこの企てかも知れ 片の取締のに弛みを生だんさの努力の結果、自然 在するのである。のみなら こささへ亜盛される。斯く のである。又、日オリー のである。又、日オリー のである。又、日オリー そうである。 欧米に於ては 大煙草吸飲の悪風は近來特 者い婦人能に非常な勢を以 では未だそう表だしくは が、云ふまでもなく。 歴 は、我が邦に於ては法律を が、云ふまでもなく。 歴

本和維持機関さして時間は 本和維持機関さして時間は

(十二)阿片專賣法を其の目的 可片の生産より煙膏の製造、 其の取引、配給次で之が消費 に到る經路上の各部に對する 奈定は大體で速の適りである 次に然らば統制の一般方時、

は出来なかつた、之は一に政府に實行能力が続けて居つたた。政府の政治能力が続けて居つたのがあった。政府の政治能力が続けて居つたのが、政府の政治能

でするが如き一切の行為 でものみなるす。一方に がいまして日本に敵動行為をな であるがなるす。一方に

満洲國の

阿片問題

醫學博士 久保田時

でしても全く別の考を以て進 ・ ではに使つてこれを統制する では、同じ事 がは、同じ事

まるに従って次第に増散を必ずるに従って次第に増散を動いません。 こなしには一日も平安に日を独りである。 こをない様になるのである。 こをなに戻止すれば、所謂祭止現るに戻止すれば、所謂祭止現るころよで非常な苦痛を起し ない、阿片の危險は乙を慣用した。阿片の如く惡性では ある。阿片の害難に酒。煙草 酒も愛用に依つて地 るるほご なるほご なるほご 管制を立案してはおらない。 向井の統制を、收益を直接の 目的さして之を行ふならば、 それば、数に悔を後世に貼す ものさして警告しなければな らない、若しる嫡洲洲城特楽 らない、若しる嫡洲洲城特楽 に致し、人質主義二月りて重 必ずや騒音の如く不健全なるし、之が遂行を貼すべき制度を確立し、之が遂行を貼すべきである。若し其の制度は收益主製に設落し、随宵之を久しくしに設落し、随宵之を久しくしに改落し、随宵之を久しくしに改落し、随宵之を入しくしに改落し、随宵之を入しくしに改善しておらうか、後世、頭別にガンデー二世がおはれ、頭別にガンデーニ世がおはれ、

一鍋加二日發國疆」張廷福の 電型で、凌遠、凌遠等の陣地を 電型親し此等な陣地に軍隊を 電型親し此等な陣地に軍隊を 電型親し此等な陣地に軍隊を ならず赤峰凌遠母次いで路落 ならず赤峰凌遠母次いで路落 ならず赤峰凌遠母次いで路落 昨年來急激な人口増加を市中で好成績をあけてきたが殊にの工業者の小口金融機関さし 合の業績 新京金融組 てるるが撥常責任者の談によ□十八圓さいふ好破績を示し□十八圓さいふ好破績を示し

洲中銀總會

主総會を開催した。熈財政部二時より総行に於て第一期株 决算報告其他可决 第一期末貸借

一年であって高事創設の際で ・ はなの通りである。 はなの通りである。 はなの通りである。 はなの通りである。 はなの通りである。 に関し御報告申上ぐるここは ・ はいの発売さ数すさころであ ・ はいの発売さ数すさころであ ・ はなの通りである。 であって高事創設の建積 ・ といるここは ・ に関し郷等。 ・ に関し郷等の建積 ・ に関し郷等。 ・ にあるここは、 ・ に関し郷等。 ・ に関し郷等。 ・ に関し郷等。 ・ に関し郷等。 ・ に関し郷等。 ・ に関いの発売を必ずさころであ ・ に関いの発売を必ずさころであ。 ・ に関いの発売を必ずさころであ。 ・ に関いの発売を必ずさにある。 ・ に関いの発売をといる。 ・ に関いの発売をといる。 ・ に関いの発売をといる。 ・ に関いの発売をといる。 ・ に関いる。 ・ にある。 ・ にある。 ・ には、 傾するものき見るべきである うさ信じます(未完)

組合を利用するものも揃次 関本の財態で進めば解氷財 に入れば資金の需要も相常 に入れば資金の需要も相常 に入れば資金の需要も相常 をもつてるる際である 輸途に對しては相當の即 一詞幣三萬圓整 端補缺損準茲將本期純安分配如左 一頭幣一萬圓整 分配紅利平 ■紅利(週年大風) 國幣八萬圖整 特別公積 业 紅利(週年大厘) 沒任金

●大連特産

若能に遭過致して困ります。 主腰の傾向にあることであり な替の低落の割合に物質の騒出 の敵増を見るに至りため、輸出 及び世界の大勢に反して物價 に設もわが弱き密切な関係をして居り未だ復帰の曙光だけ

貸および公開市場政策が 第三回 第一回 **▲上海倫敦向** 實值 一志 《片代分三 質值 一志 《片代分三 質值 一志 《片代分三 元章 一志 《片代分三 付寄值值止上海漂金 北岩温度量金 北岩温度量金 大連鈔票

速10120 || 三言| 宣 **四四四四四百** 六九公公儿合 千八百零八周六角二一分整 十八百零八周六角二一分整 本明總換金 四十七圓一角四分整 本明總益金 五十五圓七月六分整 五十五圓七月六分整 至11°01里 1四次 前 前 は好韓の道を示してるまい。 米、佛さもいづれも十一月迄 四八ヶ城の昨年上半期貿易の財政権であります。外語が模様であります。外語が模様であります。外語が表によるで世界の場合によるで世界の場合によるで世界の場合によるで世界の場合によるで世界の場合によるでは、 致したのであります。この間以の少く。等ろ経濟機構の建

再び落種して仏落を示してみて撥を来してゐるが十月には オブペ ムロゴ 1110 ラチル印 一十十七五三 ・ ナチ支日英官 ・ 大大五経 ・ はいる ・ は 銀塊及爲替

各地市場 海外經濟 3.八十六五四書 月月月月月 限限張限限張限 先系現 月月月 | 日月日 | 日日 | 日

に依り調査するに其の概要次の小賣物價を同月十五日現在、 年同月に比し二厘騰貴 新京に於ける 将斜合(重要納品三十 二月分小賣物價速報 關東廳調查課發表 四和五年一月に比し指数九二、三即ち七分七厘下落 昭和六年十一月に比し指数

五月限 → 豆 豆月限 ——

中国月を 昭和五年 100十人 類別に依る指数を示せは 第一回 ▲阪神日米 偽替 11回 110那公分2 110那公分2 お開発記念の との開発の 一人連座 合向 支票所次00 支票所次00 支票所次00 ▲大連上海向

の月

▲阪神日英為替

化大五四三二現 平月月月月月物 來限限限限限

新京市沈

豆 類物二點 州來高一

学印(一割二分三厘)

別)夢西キリン(一割)ソー

(一刺〇分八厘)海南白菊亚宗(七分十厘)8市(六分七厘)水炭(三分八厘)

▲大坂株 건축물을 강강강당

訓勵を出発し同夜葉柏香附、川原那像は一日午前五時

であの熱河工作に就てたのである。

一〇次大/ 思道延々数 前元時辛うじて蛇牛蟹子に到 前元時辛うじて蛇牛蟹子に到 を投軒して午前六時、明陽

一度生用 会別に且る から見てこの計画は発 がら見てこの計画は各方のよの から見てこの計画は各方のよの から見てこの計画は各方のより大髪な数びを以て迎へられ 事務調始に先立ち早(も申込の家政婦會なごと遠つて一里の呼吸はせてある

血みごろの宣撫員

等く関いつつけ取りすけを利能は二月二十三日齢本部職長部は二月二十三日齢本部職長の一部を帯びし縄東軍宣振班の一部を帯びし縄東軍宣振班の一

利 人口二千の劉龍臺に到着な休 一 大口二千の劉龍臺に到着な休 一 大口二千の劉龍臺に到着な休 一 大口二千の劉龍臺に到着な休

隊配備狀况

部隊の一等兵佐々木等美、北一中中間一時頃幾柏得東北方的一中中間等子を占領、際長利

車をして結構なきをに 薬をして結構なきをに 漢成せ 更に軽機関銃の猛撃を加へ飲 で換行せる爆弾を投下し整し

上を利して、村長李瑞祥以下 を監督を開催し、福州國成市 の選因より現在及び将來に言 及し加ふるに臭軍の熱河討伐 援助の理由等を強調したれば

家政婦の周旋をすることにな 規定を決定し即日實施これが 規定を決定し即日實施これが でしていまして取扱

おの内容その他の事情によって決る際だが食事は泊り込みであることになってある。

満鐵社會係が

家政婦の周旋開始

謝の辭を述べ賀軍関批政を訴

一時間の後の戦

長瀬部隊の

際は一日午輸七時券記島子 の部降の舶衛たる田中部

(明陽西阁方約1里)附近を 出産した 四。〇部除の主力は一日太平 房に宿營二日拂腾同地蚕〇

名負傷

敗兵掠奪で

猛振り 我空軍の勇

承徳は大

混亂

湯玉麟の身邊危險

カしつつ顔後に向ひ前進し、金中川原都降の集員に協

に優先させ

新時代精神に基づい

軍は傳統的精神に基いて上下なってゐるこれに就ては陽面 たでは、100mmに対しては、100mmに対している。 は、100mmに対しては、100mmに対しには、100mmには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmには、100mmには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmに対しには、100mmには、1 で補じ次の如き弱き主張を持 が其方法に

一時局 の勃建以来 一時局 の勃建以来 をはけてるる、この民衆が 震測問題に多大の鍋心を以 でもこれに参加するのは の配當炭障もあり金融界の と、然かもこの投資に政府 し、然かもこの投資に政府

先的に維持し得らるのやう 一方式 一般民衆が優

するらしい を表するである。従来の方法では多数購よるの及び海珠では多数購よるの及び海珠では結局之れを買よ機せがないのである。従来編別は、本が優先するかも条葉ご云では結局之れを買よ機せがないのである。従来編別は、本がのである。 従来編別は、おのである。 日本の一般

めようごも思はない。 もない處は大中資本家が補 つて観家的に必要な領鍵の 増資を完成するここは誠に 熱望する處である。 類ほ大

| 10日で | に就ては前では過じた事業があるから | に就ては前には過じた場合を有利に | に就ては前に

たしめ得るようにしたい、株は優先的に一般氏衆に結構な優先的に一般氏衆に結 現況から見ても

を以て之れのみで獨占せ

般民衆の資力にも限りあるては別問題だが、但し一

一九又次員 曾社の股ウに愛國投資をしようごする 主々資本家もあるから其計 造も相雷進んである。即ち 清國斯株の募集方法ご投資 會社の問題は和互に微妙な 間係を有するもので大中小 質本の特性を考慮し、之れ に適合するやう國民各階級 を じ日本認民の生命線を でるに必要な投資ご新時代 中るに必要な投資ご新時代 中るに必要な投資ご新時代 中るに必要な投資ご新時代

旭光を背に

隊長赤峰入城

超たる議門の後賓をするここが目下の急務であるさ信ずる」この 投資に 當り 大資本家は放て配當の保障要求をするここ

第一時間健見の 開発 の 単常 の 単常 の 単常 の 単常 で 一時 間 使 見 の 単常 で 一 年 版 の 指揮 官 佐 々 木 ポ 除 長 は

電話機着く

受付は四月か

近く工事に着手

京電話課主任は語る

店舗の如き靴ドー足さへ無く ・ 電域は皇軍人域まで輩司 強奪振にて蒙古風に吹き荒さ

「赤條三日登園園」茂《部除 生力部除る昨夜より今朝にかけ類々入坡、〇〇除長は今朝 鑑か東よりさし昇を旭日を背 鑑か東よりさし昇を旭日を背

長も大部隊

「動々たス偉動を樹てた茂木」「赤峰三日隆調者」赤峰攻略

蔣、張關係惡化

(赤條三日登嗣道) 赤峰人城 他の茂木部除は七日間に亘る を途の帰行軍に聊かの披夢の 色も見せず、直ちに部隊の整 の場を行ったが終兵の而上には はいまれた。 健兄の意気を見

用必要

「北平二日春間油」 然間保悪化し北平軍事分會は の展開さ共に蔣介石張県良間 の展開さ共に蔣介石張県良間 北平軍事分會移駐

を で いって そして 果して お で の 客 附 眠 詰 加 入 の 申込を

應じられるがも現在いるこ

カ末だ不明である

またもや 天然症 道北數步圖十八號朝

四平街の余寒

しであり、一般在滅邦人も緊
を發表される管であるがは局

揮ひ決議をなしたる上宣言を各地の代表者によつて熱獄を

役してゐる折ざて模況を呈す

年記念慶祝

四平街の周

を明け頃は下る下る丁度等トは越した。陸軍配念日だものは越した。陸軍配念日だものもう検岸も眼前ださ巣観する人間を心にくしさみたか昨今の餘寒は赤格別で恰ら11日のの餘寒は赤格別で恰ら11日の 零下三十一度に達す だ 道行く人達の注意をひいて居

三十一度余さ云ふ飯しい猛烈さ、到る鳴水道の事故頻り阿は食事も類出して居た。大四中街は食事も類出して居た。大四中街では明米従業員の事故娘り阿太上一附近は破損を房から噴山 緩和陳情 會から 公學校父兄

おり、 類同さしならないの面では全く不可能では、 ない、入場児童の教教でこれが收めてこれが収めませば、 を断はられる始末で保団校父兄會長は二日来京した有質器 本務房さしてはこの現狀を訴へより多数収容 さし更に一単級の増設が平年度 から、類面では全く不可能で ました。 はいてはこの現狀を訴した。 はいではこの現狀を訴した。 はいではこの現状を訴した。 はいではこの現状を訴した。 はいではこの現状を診した。 はいでは、 はいでは 「四本街支局を」東北三千萬 主 所の機風野から王道樂 に今日三月一日は来た。此日 は帰よ団く足亦安忠峻業裡 に今日三月一日は来た。此日 が 条数日本の酷寒も大に和ら で 100年代を一種回して其の間 が 100年代を一種回して、100年代を一種の 100年代を一種回して、100年代を一種の 100年代を一種回して、100年代を一種の 100年代を一種回して、100年代を一種の 100年代を一種回して、100年代を一種の 100年代を一種回して、100年代を一種の 100年代を一種回して、100年代を一種の 100年代を一種回して、100年代を一種の 100年代を一種回して、100年代を一種の 100年代を一種の 100年代を一述 100年代を一述 100年代を一述 100年代を一述 100年代を一述 100年代を一述 100年代を一述 100年代を一述 100年代を一述 1 たる四半街神社吐頭に官民氏数日来の降雪に掃き潰められ 子多数参列級かに備州的建設 僧しは左の頭もいで越入に奉 心からなる迷徳周年の祝賀の をある中に四平街日禰官氏の 神社報告祭 午前九時年

新京の孔子祭

吸老の一夜を過す

を伴び斉班死力 れた悲

新作品書

會場ヤマトホテル

開期三月四日五日

十時辺會場大和ホテル一階廣 の艶魔なる美人を併せて二十

及び経濟度活に主力を往き旨員及に雷らしめ先づ治安維持 日午後三時〇〇〇〇司令官入に猛進中である。因に二十七を仲び呑班死力を整して復活の官艦工作は必然多大の財産

無権でもれる 電撫班の活動さ相俟つものさ 電無班の活動さ相俟つものさ 縣民一季って喜々

地響者。此の自出だい時に富 地皆者。此の自出だい時に富 地皆者。此の自出だい時に富 理信は東地に來り雪の瑜洲里 にかこがれ滯原中の處氏か今 同参考品まして持縁せる處の 別代日本一流の大家竹内柄鳳 川合玉堂。水田付園、小川零 時めまして京都女流畵壇花形 中のる帝展委員花形の作品 いわゆる帝展委員花形の作品 があまして京都女流畵壇花形

形 事 次谷 4 9 エ(回) は去る二十 新京城内東三島路科亭二見樓 平 馴染客を共謀し無職家出した 八日新京領事館警察署で拘留に世八日忠せられた。 なほ同地主党井サエ(24)は科科十回 處罰さる

指には即時分譲する答になっ 者には即時分譲する答になっ て居る 樓主ご酌婦

婦人會や姐さん達までが

傷病兵を訪ふて

场、同二十二、二十二两日

姐さん

情多の玉川から直輪人です。 米だ類京に好きな人ができな かる淋しくて繰りたいさいつ いてあました間情してやつて

新京聯合婦人會では桃の節句に際し病床に臥せつてるる傷病兵慰問のため草もち、複もちを御持参午後一時から感に慰問に出かけたが、これを聞いた、ちごりの養妓さん途十二名も「あたい達も加えさして下さい」を満んでこれに参加手踊り、三昧線に心からの動間をなし午後三年半街兵職

雲隱れ

前借を踏み倒

集ひ

日の出を拜する

足理に引上げた 剣道稽古日 海鐵劍道

るが新京における稽古は左の 教師篠原義雄氏は近く來京す

め人口の急激な増加に伴ひ日のた長春が講別のの建図によった長春が講別のの建図によ

鬼 月五百個の自動交換機械 鬼 月五百個の自動交換機械 月は要するから早くても一中に工事。を開始されるものを思はれる工事に約一ケ が会選信局さしても一日も 市中では色々の暇もあるが 能額の相場が暴躍したので 三月七、八頭日面変雕校道 全満大會は 押方を顧出た

商業學校講堂で

來る十日開催

今度本計轉動を命ぜられ離点するに常り今度本計轉動を命ぜられ離点するに常りて赴任仕候行李匆々の際作畧儀紙上を以て赴任仕候行李匆々の際作畧儀紙上を以て却挨拶申述候也 コニョロロ

横コト笠井マサガ抱へ酌婦宮本ツル(二九)は前借四百圓セ本ツル(二九)は前借四百圓セ本ツル(二九)は前借四百圓セ本ツル(二九)は前借四百圓セ本ツル(二九)は前借四百圓セ int total をノウサブしてるましたが成 温崎高十二度六、最低二十四をノウサブしてるましたが成 温崎高十二度六、最低二十四をノウサブしてるましたが成 温崎高十二度六、最低二十四をノウサブしてるましたが成 温崎高十二度六、最低二十四をノウサブレーと 西公園で日の出を舞する集びからであるさ

建城一周年日議合同祝賀會は 中後元時より大同會館に於て 日議官氏立推の余地なきまで 多数列席鯉沿日本側に表の祝 副についで曲梨樹縣是澤井砂 事官の祝嗣の朗讚のりて宴に 移り日様美言の斡随に盃をい な鯉沿、曲南代表のは野にて

西本願寺執行可仕候追而葬儀ハ途中行列ヲ癈シ本日四日午後三時記可於四十分死去仕り候間此段御通知申上候 永々病氣中ノ處藥石効無ク三日午後三時 第一區町內會 統 代 助茂郎郎治直郎

第而罪状の衛は三月四日午後一時自宅用棺西本願寺にて朴豊み申饒月三日午前九時十五分死去仕候に付御通知申上與日中田ハル(我衆て病氣療養中の處薬石効なく三 友人總代

るい禁むを安心して買くるも

か方法はないさいつてるる。常然受年度に縁延ばすよりほ 楢尚氏出發

一日候選を出帆したが同日出物闘の職機関地力事務所是は二

の電報を寄せた

格図を祈らるは感似實に無 登遙かに各位の飼健康で何

福十一時市民並に白系器人等 最市内を建岡駅を合唱しつり 日連し綱州街第一小學校底を出 で解散した。 旗行列 見童試行刘午

桃の節句に

やさしい慰問

の下に満洲北馬龍を三哨して 財液のりて後州代表検軽 表曲梨樹縣長、澤井参亭官配

日滿合同就賀會端洲國 さんの学子最近期らかによくさえてかった。 でもうまいでする精電軒であるです。 でもうまいでする精電軒の学子最近期らかによくさえ でもうまいでする精電軒の学子最近期らかによくさえ であんです。然し先夜は彼氏 でのました人ここのスズチ 下けてへへ…… 45字群の書 原天になつてるた連中間毛を であります▲その普彼女の て又盛んにエロを競散す

第三届 第三届 · 代 · 位 · 代 · 位

福

員の住死も不明

を後七、四五ニュース(乾 四亜語) 〇〇ニュース(乾

後七、三〇ニュース(英

唐桑村 の

被害甚大

内は被害無し

流失家屋

四十月

死者七名

各種印刷を製本

園を頂載したいと存じます詳細は左記に御問合込を顧ります貸借の御約束が成立の上は約束金のゆくように改造致します御希望の方は三月二年出一十二戸住居、中三間長四間程度住居、中三間長四間程度

西脇洋行

即小賣 北原紙店

三七三七三九

市內三笠町三丁目十五番地

益

豐

店

か見出り血液循環治療院

岩手 人震災被害の 最も甚しい 方面 のは宮城縣下

東京後八。三一首戦(内地向) 東京後八。三一首戦(内地向) 東京後八。四五ニュース東京 東京後八。四五ニュース東京

不信用の

名は絶對に賣らぬ

が フ

B.

告

入

中

折

帽子

ネクタイ ワイシャツ

断京三笠町

デダル

七十七年縣山沙大店本

電話三八六九番

術美級茲一理洲蘭

型 製 問 專

* 承集 • 建大王国

荷

心

元外交員

本本

田川

類四

造 郎

福

營業科目

地震・1・列國通) 三日午前九時半までに内務省警保局長宛に報告された、千宮城縣々下の被害狀况左の如し <宮城縣々下の被害狀况左の如し

岩

の關係無之候爲念右廣告仕候也

咽

昭和二年三月 新京北門外民政部前

交進社印刷工廠

電話三二六五番

一守口大根漬、西

瓜ナ

ラ漬

電話三番店店

新ナラ漬、

大根カ

阪大0層古

右之者去る一

月末日限り退社仕り候間爾後當社とは何等

は二百餘戸倒潰縣下「部海岸地方に被害多き見込みで目下調査中、押寄せ家屋一千戸流失、宮古町にも十尺の津波起り浸水家屋多數、山田町震と同時に釜石町に火災起り三百戸燒失地震後三十分頃、高さ十尺位の津

緩易●水道●衛生工事●佯灰加工

り候間此儀御了承の上御引立の程伏て奉慰願候

長乾

本

太郎

御會料理席

電話三四九〇番

連ら

田

王

美酒

佳肴

吹戸た 雪外と ではへ

社は左記四名を以て各位の御用命を蒙り居 を裝ひ金銭又は原稿類を詐取せる者有之者

に聞及び候當 尚當社外務員

△浦川測候所報告 宮古海岸に四尺乃至七尺の波津襲來は告、氣仙村海岸浸水家屋千餘戸、死者二十五名、通)中央氣象臺午前九時半發表 釜石海岸浸水

△秋田測候所報告 秋田測候所報告 地震後北方に雷光の如き光を見る弘前附近被害多じ、死者四名、家屋流失五戸、浸水家屋三十戸

(盛岡市三日殺國通) 力せ る岩手縣 まで 被

誠實は交進社唯

の武器

告

0 浸水による堤防崩壞一ケ所、家屋倒壞で子供二名行方不明 岩手縣盛町警察署管內被害 の狀况午前七時半までに判

花失家屋六月 流失家屋八十月 行方不明七名 行方不明四十五名

△大船渡村 家屋流失四十戸、京 京屋流失四十戸、京 △和戸郡宇部村 流失家屋 △別伊郡田野畑村 流生 △別伊郡田野畑村 流生 △晋代村 流失家屋 流失家屋八十七月 (以上號外再錄)

及び原属を實明脱級のため特別で現地には十一時半羽田かる飛行機で現地に

京後五、四〇醇演外交部総定後九、二〇演藝・大後五、〇〇ショード銭行天後五、四〇醇演藝・大後五、四〇醇演藝・大後五、四〇醇演奏・大後五、四〇醇演奏・大後五、四〇醇演外交部総の一種を表している。 語)鍼魚強和及逆州語ニ被大、二〇時事解説(調明など動編輯

個 三

の屋乃花いしいお THE REPORT OF THE PERSON AND THE PER

杉尾 商店

玉打

しま や吳服 電器二五三五名 店

士 吉野町 沼 一丁目二番地 田 電話三七二八番

5

即

製造所日本機所り四四

ハイ

コサチ

取引先信用調查 人事秘密探偵 各種企業調查 棒談調查及紹介 家籍及商品紹介 新京興信公所 全國各地回業聯絡 共 正 十 年 創 業 完松町十一香地 損害 豫防機 職



古野町市塩前ミラ収屋書店内 司第二三三一名

割 烹 ぜんざいぞうに ん。そ は 町笠三京新 五四四三話載

(型線維星)

代理店

阿

製作

充

會合

カナへ商食製作所

切叮嚀に治療致ます。是非一度御來院を神麟ひ申ます自宅治療に限り全身治療(七十銭)か見治療二十銭にて観の血液循環療法にて健康を御保ちを御願ひ申上ます 營業案內

陸軍諸官衙御用達日本ペイントを科カーパイトシケラツ日本ペイントを科カーパイトシケラツ軍隊兵器手入材料揮發抽、酒精、染料、

田中·的會新支店 旅順乃木町三丁目 當出町三丁目十番地 富出町三丁目十番地

長春美容院

支本店

























營井 ● 随本 町形人市京東



